

大西雄太郎, 宮林千春, 窪田芳樹, 四柳閑郎: 下部消化管出血に対する緊急大腸内視鏡検査施行症例の検討. 第30回日本消化器内視鏡学会 甲信越地方会, 1991, 5, 松本.

133) 宗像周二, 魚谷英之, 南村哲司, 饗場松年, 大西雄太郎, 木村 薫: 特異な臨床経過から診断に難渋したクラミジア感染 Fitz-Hugh Curtis Syndrome の一例. 第78回信州外科集談会, 1991, 12, 松本.

134) 宗像周二, 南村哲司, 饗場松年, 大西雄太郎, 中村 暁, 本道潤子, 窪田芳樹, 四柳閑郎: 器械吻合後の膜様狭窄に対し内視鏡的切開術を行った2例. 第42回長野県医学会, 1991, 9, 小諸.

135) Tsukada K., Church M., Tazawa K., and Fazio V.W.: Peristomal skin pH: Is there a correlation with the status of the peristomal skin? The American Society of Colon & Rectal Surgeons, 1991. 5. Boston, U.S.A.

136) 坂本憲市, 山本克弥, 森永秀夫: Eubacterium lentum (TYH-11) の肝転移抑制効果. 第50回日本癌学会総会, 1991, 9, 東京.

137) Mochamad Hatta, 島田 薫, 坂本憲市, 山本克弥, 森永秀夫, 河合幸一郎: Eubacterium lentum (TYH-11) の抗腫瘍活性について (第18報) 一細胞分画による有効成分の抽出—: 第64回日本細菌学会総会, 1991, 3, 大阪.

138) 二谷 武, 窪田博道, 鈴木宏文, 島田長樹, 魚谷英之, 増子 洋, 山下芳朗: 巨大脾腫で発見された肝外性門脈閉塞症の1例. 第22回富山県小児科集談会, 1991, 11, 富山.

139) 二谷 武, 窪田博道, 鈴木宏文, 島田長樹, 魚谷英之, 増子 洋, 山下芳朗: 巨大脾腫で発見された肝外性門脈閉塞症の1例. 第237回日本小児科学会北陸地方会, 1991, 12, 富山.

140) 前田正敏, 川西孝和, 二本松博子, 佐伯俊雄, 唐木芳昭, 藤巻雅夫, 瀬戸 光, 本田 昂: 微粒子活性炭の¹¹¹In 標識化の基礎的検討—乳腺リンパ流解析への応用—. 第7回日本 DDS 学会, 1991, 7, 東京.

141) 小林 肇, 深町信一, 深町信介, 勝木茂美, 鍋谷欣一: 保存的治療を施行した十二指腸潰瘍穿孔の6症例. 第16回日本腹部救急医学会総会, 1991, 3, 東京.

142) 小林 肇, 深町信一, 勝木茂美, 深町信介, 鍋谷欣一: 卵巣癌と鑑別が困難であった大網原発悪性中皮腫の1例. 第740回千葉外科集談会, 1991, 3, 千葉.

143) 落合 宏, 黒木嘉人, 黒川昌彦, 白木公康: ヒトA型インフルエンザウイルスのNK活性およびLAK細胞活性に及ぼす影響. 第39回日本ウイルス学会総会, 1991, 10, 福岡.

144) 石塚安治, 中嶋良作, 佐伯俊雄, 金本郁男, 堀越 勇, 田沢賢次: エプタゾシン坐剤の臨床応用. 日本薬学会112年会, 1991, 10, 福岡.

145) 飴野弘之, 加藤 博, 榎淵統一, 西村彰一, 小玉正智, 藤巻雅夫: 出血によって発見された十二指腸脂肪腫の1例. 第53回日本臨床外科医学会総会, 1991, 11, 徳島.

◆ その他

1) 藤巻雅夫: 便秘・下痢. 続健康生活学(富山テレビ放送講座)16-24, 1991.

2) 藤巻雅夫: 食道リンパ流の特性に基づいた胸部食道癌の合理的手術方法の研究. 厚生省がん研究助成金による研究報告集 285-288, 1991.

脳 神 経 外 科 学

教 授	高 久	晃			
助 授	遠 藤	俊 郎			
講 師	岡 伸	夫			
講 師	西 島	美知春			
助 手	平 島	豊			
助 手	桑 山	直 也			
助 手	栗 山	昌 紀			
助 手	大 森	友 明			
助 手	増 田	良 一			
助 手	赤 井	卓 也			
文部技官	中 山	八州男			
前 助 手	野 上	予 人			
前 助 手	武 田	茂 憲			
前 助 手	神 林	智 作			
前 助 手	楠 瀬	睦 郎			
前 助 手	久 保	道 也			

◆ 著 書

1) 西島美知春, 高久 晃: 乳幼児頭部外傷, Annual Review 神経, 210-218, 中外医学社, 東京, 1991.

2) 平島 豊, 高久 晃, Horrocks L.A.: アルケニアシル型リン脂質(プラズマローゲン). 新化学実験講座4 脂質II リン脂質, 東京化学同人, 157-166, 東京, 1991.

3) 平島 豊, 高久 晃, Horrocks L.A.: エーテル

- 結合切断酵素 新生化学実験講座 4 脂質IIリン脂質, 東京化学同人, 429-438, 東京, 1991.
- 4) Oka N., Nakada J., Endo S., and Takaku A.: Changes in the cerebral vascular bed in experimental hydrocephalus: An angioarchitectural and histological study. Springer Verlag: 46-57, 1991.
- ◆ 原 著
- 1) Ohtsuji T., Endo S., Nagahori T., Furuichi S., Ogiichi T., and Takaku A.: An experimental model of symptomatic vasospasm in rabbit: Analysis of regional cerebral blood flow and histological findings. *Cerebral Vasospasm*: 214-216, 1990.
- 2) Oka N., Kamiyama K., Nakada J., Endo S., and Takaku A.: Surgical approach to arteriovenous malformation of the medial temporal lobe. — Report of three cases—. *Neurol. Med. Chir.* 30: 940-944, 1990.
- 3) 遠藤俊郎, 神山和世, 岡 伸夫, 西嶋美知春, 高久 晃: 脳梗塞急性期の治療—特に頸部内頸動脈高度狭窄例に対する急性期CEAの意義について—. *脳卒中* 12: 623-626, 1990.
- 4) 野村耕章, 高橋慎一郎, 園部 真, 杉田京一: 脳神経外科領域における高齢者救急医療の実態と問題点. *救急医学* 15: 473-476, 1991.
- 5) 遠藤俊郎, 古市 晋, 栗本昌紀, 岡 伸夫, 西嶋美知春, 高久 晃: 内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤の2型分類とその手術アプローチ. *脳卒中の外科* 19: 130-134, 1991.
- 6) Harada J., Takaku A., Endo S., Kuwayama N., and Fukuda O.: Differences in critical blood flow with age in swine. *J. Neurosurg.* 75: 103-107, 1991.
- 7) Hirashima Y., Jurkowitz-Alexander M.S., and Horrocks L.A.: Coupled enzyme assays for phospholipase activities with plasmalogen substrates. *Methods in Enzymology* 197: 79-89, 1991.
- 8) 二谷立介, 瀬戸 光, 柿下正雄, 栗本昌紀: シネMRアンギオグラフィ—頭頸部血管病変への応用—. *日本臨床* 49: 158-161, 1991.
- 9) Moto A., Hirashima Y., Endo S., and Takaku A.: Changes in lipid metabolites and enzymes in rat brain due to ischemia and recirculation. *Molecular and Chemical Neuropathology* 14: 35-51, 1991.
- 10) Akai T., Kaji T., Hayakawa Y., Hayashi T., and Sakuragawa N.: AntithrombinIII modulates the effect of thrombin on the metabolism of glycosaminoglycans in cultured endothelial cells. *Thrombosis Res.* 62: 707-716, 1991.
- 11) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大辻常男, 野村耕章, 高久 晃, 唐沢 健: 脳血管攣縮における血小板活性化因子PAFの役割. *神経化学* 30: 130-131, 1991.
- 2) 平島 豊, 長堀 毅, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 中川靖一: 慢性硬膜下血腫の血漿および血腫の脂質分析—血腫増大機構への血小板活性化因子(PAF)の関与—. *神経化学* 30: 478-479, 1991.
- 13) Kuwayama N., Takaku A., Harada J., Fukuda O., Endo S., and Saito T.: Modified thermal diffusion flow probe for the continuous monitoring of cortical blood flow. *Neurosurg.* 29: 583-589, 1991.
- 14) Arai K., Horie Y., Kurimoto M., Endo S., Hiraga K., and Takaku A.: A cell line of human malignant astrocytoma producing autocrine growth factor. *In Vivo Cell Dev Biol* 27A: 606-614, 1991.
- 15) 龍村俊樹, 古野利夫, 辻本 優, 美濃一博, 東出慎治, 栗林秀樹, 伊藤祐輔, 高久 晃: 脳脊髄疾患における高圧酸素療法の臨床意義. *日本高気圧環境医学会雑誌* 25: 169-176, 1990.
- ◆ 症例報告
- 1) Honma F., Ohara S., Ohyama T., Moto A., Okada H., and Harada H.: Brain abscess associated with congenital pulmonary arteriovenous fistula. *Surg. Neurol.* 34: 439-441, 1990.
- 2) 山谷和正, 斉藤哲現, 大井政芳, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: Human tailの1例. *脳神経外科* 19: 93-96, 1991.
- 3) 中川 肇, 渡辺行雄, 上田晋介, 安林佐都紀, 久保道也, 高久 晃: Bruns-Cushing眼振が観察された第4脳室epidermoid cystの1症例—神経耳科的所見の検討を中心に—. *耳喉頭頸* 63: 59-60, 1991.
- 4) Kurimoto M., Ohara S., and Takaku A.: Basilar impression in osteogenesis imperfecta tarda—case report—. *J. Neurosurg.* 74: 136-138, 1991.
- 5) 古市 晋, 西嶋美知春, 栗本昌紀, 高久 晃: 後頭蓋窩病変術後のDisproportionately Large Communicating Fourth Ventricle. *脳神経外科* 19: 379-383, 1991.
- 6) Hirashima Y., Arai K., Endo S., and Takaku A.: Intellectual disturbance and brain atrophy in vascular parkinsonism. *Neuropsychology* 5: 171-178, 1991.

- 7) 遠藤俊郎, 高久 晃: 発症早期の血栓内膜切除術が有用であった高齢者頸部頸動脈高度狭窄症の2例. 老化と疾患 4:1998-2001, 1991.
- 8) 野村耕章, 高橋慎一郎, 園部 真, 杉田京一, 藤井康伸, 林 央周: Persistent trigeminal artery variant の1例, 臨床放射線 36:1605-1608, 1991.
- 9) 鬼塚圭一郎, 栗本昌紀, 遠藤俊郎, 桑山直也, 高久 晃: 椎骨動脈の duplicate origin を合併した persistent primitive first cervical intersegmental artery (proatlantal artery II) の1例. 臨床放射線 36:1707-1710, 1991.
- ◆ 総 説
- 1) 遠藤俊郎, 高久 晃: 急性期の頸部頸動脈血栓内膜切除術: 急性期における高度狭窄病変の手術—その適応と意義. Mebio 8:104-107, 1991.
- 2) 高久 晃: 小児脳の循環代謝と血管障害. 山口県医学会誌 25:194-198, 1991.
- 3) 岡 伸夫, 高久 晃: Chiari 奇形の診断と治療. 小児外科 23:71-76, 1991.
- ◆ 学会報告
- 1) 西嶋美知春: 胸部出口症候群に対する第一助骨切除. 第7回白馬セミナー, 1991, 1, 苗場.
- 2) 平島 豊, 高久 晃: 脳ホスホリパーゼ A₂ の精製と胎児脳虚血下でのその分布. 発達期における脳循環障害調査研究班 平成2年度班会議総会, 1991, 1, 東京.
- 3) 栗本昌紀, 西嶋美知春, 野村耕章, 遠藤俊郎, 高久 晃: Gd-DTPA を併用した3次元 MR angiography. 第14回脳神経 CT 研究会, 1991, 1, 宇都宮.
- 4) 西方 学, 野上予人, 池田修二, 遠藤俊郎, 高久 晃: いわゆる“mushrooming pannus” sign を呈した Meckel's cave meningioma の一例—Gd-DTPA enhanced MRI の有用性について—第14回脳神経 CT 研究会, 1991, 1, 宇都宮.
- 5) 楠瀬睦郎, 小原 進, 門間文行, 大山隆城, 大山和恵, 鬼塚圭一郎: 小脳疾患における画像上の診断とその長期予後との関係. 第14回脳神経 CT 研究会, 1991, 1, 宇都宮.
- 6) 林 央周, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 高齢者破裂動脈瘤の検討. 第4回老年脳神経外科研究会, 1991, 2, 東京.
- 7) 栗本昌紀, 西嶋美知春, 野村耕章, 遠藤俊郎, 高久 晃, 二谷立介: 高齢者脳血管病変に対する MR angiography の有用性と限界について. 第4回老年脳神経外科研究会, 1991, 2, 東京.
- 8) 遠藤俊郎, 大辻常男, 西嶋美知春, 長堀 毅, 高久 晃: 頸部内頸動脈高度狭窄病変に対する急性手術 (CEA) 適応—術前 grading system の考察—第20回日本脳卒中の外科研究会, 1991, 3, 京都.
- 9) 遠藤俊郎, 扇一恒章, 西嶋美知春, 岡 伸夫, 高久 晃: 頸部内頸動脈完全閉塞病変に対する閉塞部血行再建術, 第20回日本脳卒中の外科研究会, 1991, 3, 京都.
- 10) 鬼塚圭一郎, 小原 進, 門間文行, 大山隆城, 大山和恵: 無症候性未破裂動脈瘤の術後成績の検討. 第20回日本脳卒中の外科研究会, 1991, 3, 京都.
- 12) 西嶋美知春, 野村耕章, 中田潤一, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 堀江幸男: 虚血性脳血管障害にみられる無症候性脳動脈瘤に対する外科治療. 第20回日本脳卒中の外科研究会, 1991, 3, 京都.
- 13) 西嶋美知春, 栗本昌紀, 楠瀬睦郎, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 長堀 毅: 反復性めまい症における椎骨動脈起始部の屈曲病変—外科的走行矯正術は有効か?—第16回日本脳卒中学会総会, 1991, 3, 大阪.
- 14) 野村耕章, 遠藤俊郎, 堀江幸男, 岡 伸夫, 西嶋美知春, 高久 晃: 頸部内頸動脈血栓内膜切除術80例の長期治療予後, 第16回日本脳卒中学会総会, 1991, 3, 大阪.
- 15) 長堀 毅, 遠藤俊郎, 大辻常男, 福田 修, 神山和世, 高久 晃: 内頸動脈起始部弁状狭窄の病的意義. 第16回日本脳卒中学会総会, 1991, 3, 大阪.
- 16) 野上予人, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 平田 仁, 安田政実: 海綿静脈洞症候群と頭蓋骨腫瘍を呈した転移性悪性黒色腫の1症例. 第32回日本脳神経外科学会中部地方会. 1991, 3, 名古屋.
- 7) 田中 信, 岡 伸夫, 西方 学, 高久 晃, 塚本栄治: 開頭術後に発生した慢性硬膜下血腫3例の検討. 第32回日本脳神経外科学会中部地方会, 1991, 3, 名古屋.
- 18) 遠藤俊郎: 頸部頸動脈瘤の再建: 手術手技と合併症. 第11回日本脳神経外科コンgres, 1991, 3, 幕張.
- 19) 遠藤俊郎, 久保道也, 高久 晃, 北林政宏, 駒井杜詩夫, 塚本栄治: 頭蓋外高位内頸動脈解離性動脈瘤に対する血管内直接手術の経験. 第11回日本脳神経外科コンgres, 1991, 3, 幕張.

- 20) 美野善紀, 古市 晋, 中田潤一, 斎藤隆景, 神山和世, 遠藤俊郎, 高久 晃: スキーによる頭部外傷の臨床的検討. 第14回日本脳神経外傷研究会, 1991, 3, 東京.
- 21) 長堀 毅, 西嶋美知春, 野村耕章, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 慢性硬膜下血腫の組織学的検討—血腫腔増大機序に関する考察—. 第14回日本脳神経外傷研究会, 1991, 3, 東京.
- 22) 長堀 毅, 中田潤一, 岡 伸夫, 高久 晃: 実験の水頭症の組織学的検討. 第19回日本小児神経外科学研究会, 1991, 5, 東京.
- 23) 楠瀬睦郎, 西嶋美知春, 福田 修, 斎藤哲現, 高久 晃, 堀江幸男: 小児頭部外傷における急性硬膜外血腫の位置付けと CT 所見の経時的観察. 第19回日本小児神経外科学研究会, 1991, 5, 東京.
- 24) 高久 晃: 胎児中枢神経系の奇形の診断と治療. 第19回日本小児神経外科学研究会, 1991, 5, 東京.
- 25) 山谷和正, 吉田昌弘, 高羽通康, 杉田京一, 園部 真, 高橋慎一郎: 脊髄髄膜瘤を有する低出生体重児(1528g)の治療経験. 第19回日本小児神経外科学研究会, 1991, 5, 東京.
- 26) 高羽通康, 吉田昌弘, 山谷和正, 杉田京一, 園部 真, 高橋慎一郎: アナフィラクトイド紫斑病を合併した脳神経外科内出血の一例. 第19回日本小児神経外科学研究会, 1991, 5, 東京.
- 27) 林 央周, 岡 伸夫, 武田茂憲, 遠藤俊郎, 高久 晃, 二谷 武, 嶋尾 智: 生後1日目に脳内出血で発症したAVMの1手術例. 第33回日本脳神経外科学会中部地方会, 1991, 6, 金沢.
- 28) 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 堀江幸男, 長堀 毅, 中田潤一: 破裂脳動脈瘤軽〜中等度例における転帰不良例の検討. 北日本脳神経外科連合会第15回学術集会, 1991, 6, 福井.
- 29) 楠瀬睦郎, 岡 伸夫, 桑山直也, 遠藤俊郎, 高久 晃: 透析患者に発症した脳内出血4例の検討. 北日本脳神経外科連合会第15回学術集会, 1991, 6, 福井.
- 30) 栗本昌紀, 西嶋美知春, 久保道也, 岡 伸夫, 高久 晃: 第4脳室epidermoidの1手術例. 北日本脳神経外科連合会第15回学術集会, 1991, 6, 福井.
- 31) Hirashima Y., Endo S., Ohtsuji T., Nomura H., and Takaku A.: Platelet-activating factor and cerebral vasospasm following subarachnoid hemorrhage. 13th International Society for Neurochemistry, 1991, 6, Australia.
- 32) Hirashima Y., Takaku A., Mills J. S., Farooqui A.A., and Horrocks L.A.: Purification and Characterization of bovine brain cytosol phospholipase A₂. 13th International Society for Neurochemistry, 1991, 6, Australia.
- 33) 遠藤俊郎: 外傷性海綿静脈洞部動脈瘤の一例. 第6回信州ワークショップ, 1991, 8, 諏訪.
- 34) 池田宏明, 岡 伸夫, 楠瀬睦郎, 久保道也, 桑山直也, 高久 晃: 小児のangiographically occult AVMの一例. 第29回北陸脳神経外科集談会, 1991, 9, 金沢.
- 35) 久保道也, 西嶋美知春, 楠瀬睦郎, 武田茂憲, 野村耕章, 高久 晃: クモ膜下腔の拡大, 両側硬膜下血腫および骨折線の進行性拡大を認めた乳児頭部外傷の一例. 第29回北陸脳神経外科集談会, 1991, 9, 金沢.
- 36) 田中 信, 飯田 隆, 梅森 勉, 佐々木尚, 佐藤秀次: 馬尾症状を呈した腰椎椎間板ヘルニアの一例. 第29回北陸脳神経外科集談会, 1991, 9, 金沢.
- 37) 桑山直也: 改良型熱拡散センサーによる術後持続的脳血流モニターの試み. 第1回日本ME学会北陸地方会, 1991, 9, 富山.
- 38) Oka N., Masuda R., Nishijima M., Endo S., and Takaku A.: Psychiatric disorders after surgery of anterior communicating artery aneurysms: comparison between interhemispheric and pterional approaches. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery. 1991. 10. Seoul.
- 39) Nishijima M., Takaku A., Endo S., Oka N., Kuwayama N., Kubo M., and Koizumi F.: Etiological evaluation of dural arteriovenous malformation of the lateral-sigmoid sinus based on histopathologic examinations. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991, 10, Seoul.
- 40) Kusunose M., Nishijima M., Kubo M., Oka N., Endo S., and Takaku A.: Experimental study on various evoked potentials in acute intracranial hypertension. 8th Asian-Australasian Congress of Neurological Surgery, 1991, 10, Seoul.
- 41) Kubo M., Nishijima M., Takaku A., Oka N., Endo S., and Kusunose M.: Management of non-ruptured aneurysms associated with ischemic cerebrovascular disease. 8th Asian-Australasian Con-

- gress of Neurological Surgery, 1991, 10, Seoul.
- 42) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大辻常男, 野村耕章, 高久 晃, 唐沢 健: 脳血管攣縮における血小板活性化因子 PAF の役割. 第34回日本神経化学会, 1991, 10, 東京.
 - 43) 平島 豊, 長堀 毅, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 中川靖一: 慢性硬膜下血腫患者の血漿および血腫の脂質分析—血腫増大機構への血小板活性化因子 (PAF) の関与—. 第34回日本神経化学会, 1991, 10, 東京.
 - 44) 遠藤俊郎, 野村耕章, 福田 修, 斎藤哲現, 岡伸夫, 高久 晃: 頸動脈急性期血栓内膜切除術後の hyperperfusion syndrome. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 45) 遠藤俊郎, 野村耕章, 久保道也, 西嶋美知春, 加藤僚子, 高久 晃, 岡田英吉, 石澤 伸: 頭蓋内解離性動脈瘤症例の脳血管病理所見—出血発症3剖検例の検討—. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 46) 桑山直也, 遠藤俊郎, 福田 修, 堀江幸男, 岡伸夫, 高久 晃: クモ膜下出血術後における持続的脳血流モニターの試み—改良型熱拡散センサーを用いた検討—. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 47) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大辻常男, 野村耕章, 田中 信, 高久 晃, 唐沢 健: 脳血管攣縮における血小板活性化因子 PAF の役割. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 48) 福田 修, 遠藤俊郎, 桑山直也, 古市 晋, 岡伸夫, 高久 晃: Laser Doppler Flowmetry (LDF) の基礎的特性および臨床応用. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 49) 栗本昌紀, 西嶋美知春, 林 央周, 大森友明, 神林智作, 高久 晃, 二谷立介: 三次元 MR angiography における脳動脈病変の描出能改良の試み. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 50) 西嶋美知春, 長堀 毅, 福田 修, 野村耕章, 遠藤俊郎, 高久 晃: 虚血脳血管障害に合併する未破裂脳動脈瘤に対する治療方針. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 51) 西嶋美知春, 長堀 毅, 中田潤一, 栗本昌紀, 遠藤俊郎, 高久 晃: 反復性めまい症例における椎骨動脈起始部の屈曲病変—外科的走行矯正術の有効性についての検討—. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 52) 福田 修, 西嶋美知春, 堀江幸男, 高羽通康, 朴木秀治, 高久 晃: 脳血管の狭窄病変に伴う片頭痛症例における経時的脳血管撮影画像についての検討. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 53) 西嶋美知春, 原田 淳, 野上予人, 新井研治, 栗本昌紀, 高久 晃, 塚本栄治: 胸郭出口症候群に対する外科的治療の経験. 第50回日本脳神経外科学会総会, 1991, 10, 京都.
 - 54) Kuwayama N., Endo S., Iwai R., and Takaku A.: Problems of intraarterial fibrinolysis in acute carotid occlusion —Pathological evaluation of thromboembolic occlusion—. 1st Congress of the World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology, 1991, 10, Zurich.
 - 55) 大辻常男, 文 正夫, 遠藤俊郎, 野村耕章: 前大脳動脈 A₁ 部解離性動脈瘤1手術例. 第34回日本脳神経外科学会中部地方会, 1991, 11, 浜松.
 - 56) 浜田秀雄, 遠藤俊郎, 西方 学, 桑山直也, 西嶋美知春, 高久 晃: 頭蓋内出血にて死亡した海綿静脈洞部巨大動脈瘤の1例. 第34回日本脳神経外科学会中部地方会, 1991, 11, 浜松.
 - 57) 平島 豊, 遠藤俊郎, 大辻常男, 野村耕章, 高久 晃, 唐沢 健: 脳血管攣縮における血小板活性化因子 PAF の役割. 第3回日本脳循環代謝学会, 1991, 11, 盛岡.
 - 58) 平島 豊, 長堀 毅, 西嶋美知春, 遠藤俊郎, 高久 晃, 中川靖一: 慢性硬膜下血腫患者における血漿および血腫の脂質分析—血腫成長に関する血小板活性化因子 PAF の役割—. 第3回日本脳循環代謝学会, 1991, 11, 盛岡.
- ◆ その他
- 1) 高久 晃: めまい・耳鳴—脳外科的立場から—. 第8回滑川・新川地区脳神経疾患懇話会, 1991, 2, 黒部.
 - 2) 遠藤俊郎: 頸部内頸動脈血栓内膜切除術の経験. 第8回三重脳神経外科集談会, 1991, 4, 津.
 - 3) 桑山直也: 海綿静脈洞部硬膜動静脈奇形に対する経静脈的コイル塞栓術. 富山県脳神経外科医会, 1991, 4, 富山.
 - 4) 遠藤俊郎: 頭蓋内外血管に複数の解離性動脈瘤を認めた一剖検例. 名古屋大学脳神経外科教室開講20周年記念講演会, 1991, 4, 名古屋.
 - 5) 高久 晃: 脳卒中の予防と対策. 平成3年度富山医科薬科大学公開講座, 1991, 3, 富山.
 - 6) 高久 晃: dural AVM. 第177回 Joint Conference on Neurological Disease, 1991, 6, 福島.
 - 7) 遠藤俊郎: 呉茱萸湯の脳循環改善作用に関する

臨床的研究。和漢薬を含む生物活性天然物・バイオテクノロジー研究発表会, 1991, 9, 富山。

- 8) 高久 晃: 小児脳神経外科領域における論争点の解説。第31回福島脳神経外科談話会, 1991, 11, いわき。

整 形 外 科 学

教 授	辻	陽	雄
助 教 授	加	藤	義
講 師	高	野	治
講 師	松	井	寿
助 手	平	野	典
助 手	大	島	和
助 手	米	沢	孝
助 手	金	森	昌
助 手	松	野	博
助 手	市	村	和

◆ 著 書

- 1) 辻 陽雄: 「基本腰椎外科手術書」改訂第2版 1-428, 南江堂, 東京, 1991. (単独著書)
- 2) 辻 陽雄(訳): 胸腰椎: 外傷・「整形外科シラバス2」廣谷速人他監訳 (Orthopaedic Knowledge update 2 Am. Acad. Orthop. Surgeons), 291-303, 南江堂, 東京, 1991.
- 3) 辻 陽雄: 胸椎椎間板ヘルニア, 「今日の整形外科治療指針」(改訂第2版) 山内裕雄・真角昭吾, 辻 陽雄・桜井 実編, 504-506, 医学書院, 東京, 1991.
- 4) 辻 陽雄: 新しい画像の的確な使い方, 「今日の整形外科治療指針」(改訂第2版) 35-38, 医学書院, 東京, 1991.
- 5) 辻 陽雄企画・編集: 運動器系の病気, 「家庭医学大全科」中尾喜久他監修. 626-689, 社会保険法規研究会, 東京, 1991.
- 6) 加藤義治: 骨粗鬆症, 骨軟化症, 「家庭医学大全科」中尾喜久他監修. 641-645, 社会保険法規研究会, 東京, 1991.
- 7) 高野治雄: 筋肉の病気, 「家庭医学大全科」中尾喜久他監修. 686-689, 社会保険法規研究会, 東京, 1991.
- 8) Takano H., Takakuwa K., Kitagawa H., Yamamoto N., Tsuji H., and Ueyama T.: Spinal cord monitoring in aortic aneurysm surgery, In Spinal Cord Monitoring and Electrodagnosis, by Shimoji

K., Kurokawa T., Tamaki T., and Willis Jr W.D. (Ed.) 420-427, Springer-Verlag, Berlin Heidelberg, 1991.

- 9) Matsui H., Tsuji H., Katoh Y., Kanamori M. Tatezaki S., and Takada N.: Ceramic vertebral body replacement for metastatic spine tumors — Result of twenty-one consecutive cases —, In Complications of limb salvage, KL Brown ed., ISOLS Montreal, 381-386, 1991.
- 10) 伊藤達雄: 脊柱靱帯骨化症, 「臨床整形外科手術全書, 脊柱 (各論II)」145-182, 東京金原出版, 東京, 1991.

◆ 原 著

- 1) 高野治雄, 北川秀機, 山本直也, 辻 陽雄: ネコ後肢末梢神経刺激による上行性誘発脊髄電位に関する実験的研究. 脊髄電気診断学 12: 5-8, 1990.
- 2) 中藤真一, 高野治雄, 北川秀機, 木田泰弘, 山本直也, 辻 陽雄: 脊髄刺激および経頭蓋刺激による誘発脊髄電位の実験的比較検討—脊髄前方ならびに後方からの圧迫—. 脊髄電気診断学 12: 17-20, 1990.
- 3) Tsuji H., Katoh Y., Takano H., Matsui H., Hirano N., Ichimura K., Ishihara H., and Yamagami T.: Current understanding of low back pain syndrome. J West. Pacif Orthop. Assoc. 27: 85-94, 1991.
- 4) Tsuji H., Itoh T., Yamada H., Morita I., Ichimura K., and Ishihara H.: Artificial ceramic intervertebral disc replacement in cervical disc lesion. J West. Pacif. Orthop. Assoc. 27: 101-106, 1991.
- 5) Katoh Y., Tsuji H., Matsui H., and Morita Y.: Effects of ethane-1-hydroxy-1, 1-diphosphonate on cell differentiation, and proteoglycan and calcium metabolism, in the proximal tibia of young rats. Bone 12: 59-65, 1991.
- 6) Takano H., Kitagawa H., Yamamoto N., Takakuwa K., and Tsuji H.: Origins and conducting tracts of evoked spinal cord potentials in cats. J. Spin Disord. 4: 455-461, 1991.
- 7) Matsuno H., Matsushita I., Okada C., Suzuki M., Tsuji H., and Ochiai H.: Role of lymphocytes in collagen induced arthritis. J. Rheumatology 18: 1344-1349, 1991.
- 8) Ohshima H., Urban J.P.G. and, Bergel D.: A new perfusion technique for the measurement of metabolism of intervertebral disc in vitro. Proceeding of